

八千代工業株式会社四日市製作所の取組

平成 21 年度の取組と成果

1. メンタルヘルスケア (H21 年 4 月～H22 年 3 月末)

個別面談

産業医、保健師による個別面談 63 件を実施

メンタルヘルスリスナー研修の開催

「リーダーコース」

3 時間×2 回

参加人数

計 34 人

2. 定期健康診断の事後フォロー活動 (H21 年 4 月～H22 年 3 月末)

健診時 1289 人に面談し、うち 598 人(46.3%) が身体的精神的要指導者でありそのうち最も多かったのが腰痛の 96 人(13.9%) であった。

3 ヶ月後フォローアップ教室実施

指導の効果を明確に判定するため、健診 3 ヶ月後にフォローアップ教室を行い、6 ヶ月後に効果確認のためフォローアップ健診を行う形に変更した。定期健診受診者 1274 人中、産業医より「要治療」と判定された 394 人(30.9%) 及び「要観察」と判定された 452 人(35.5%) の内、生活習慣に関わる 325 人を対象に「メタボリック予防の食事教室」を実施し、参加者は、170 人(52.3%) であった。

6 ヶ月後フォローアップ健診の実施・成果

従来と比較して、指導の時期を早めたことによるデータの改善は見られなかったが、「要観察」の方が「要治療」より改善率が高く、悪化する前の指導が重要であることを裏付けた。また、これまで改善率の低かった肝機能については、飲酒習慣の指導後改善が見られ、喫煙習慣も 49.0% となり目標の 50% 未満を初めて達成した。

11 月より特定保健指導が導入され、最終の 5 回目面談の時点で「積極的支援」

191 人「動機付け支援」69 人計 260 人が指導を終了した。その受け皿として、社員食堂に 700Kcal 以下の「ヘルシー弁当」が導入されるなど、社としての食習慣見直しにつながった。H22 年度の定期健診で効果確認予定である。

健診結果より、全体の有所見率 81.6% (目標 70% 以下)、脂質有所見率は 35.8% (目標 30% 以下)、血圧の有所見率 28.4% (目標 10% 以下) でそれぞれ目標達成はできなかった。

平成 22 年度に取り組む内容と数値目標

1. メンタルヘルス活動

研修の実施

コミュニケーション研修「管理職コース」

2 時間×1 回

リスナー研修 「リーダーコース」

2 時間×1 回

3 時間×1 回

2. メタボリックシンドローム及び予備軍者の減少

全体の有所見率 40% 以下 (H22 年度より全国基準で判定) にする。

脂質の有所見率を 30% 以下にする。

高血圧の有所見率を 10% 以下にする。